

施策名	1601	観光交流のまちづくり
-----	------	------------

【事業類型】

- 職員人件費のみの事業
- 国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量及ばない事務）
- 負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く）
- 組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議会事務など）
- 施設の維持管理費のみの事業（高熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料）
- 施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託）
- 課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成）
- 団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。
- ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業
- ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万円未満（事業類型1～9以外）
- ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外）

【事業概要シート作成有無】

新規・拡充・その他の見直し → NO → 事業概要シート作成【不要】

→ YES → 事業概要シート作成【必要】

妥当性（市の関与）

- 市が実施することが妥当である
- 見直す余地がある
- 市が実施する緊急性が認められない

有効性（施策貢献度）

- 施策への貢献度が高い
- 施策への貢献度が著しく高いとはいえない
- 成果の向上が見込まれない

効率性（コスト）

- コストを見直す余地がない
- 検討する余地がある

総合評価

- 計画通りに事業を進めることが適当
- 事業の進め方の改善検討
- 事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討
- 事業の抜本的見直し、休・廃止の検討

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

NO	事業名	担当課 課長 担当者	事業内容	事業期間		根拠法令 要綱等	事業 類型 シート	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費（千円）			人件費（千円）		主な指標	単位	H29		H30	H31	事業の方向性
				開始	終了							H29	H30	H31	H29	H30			目標	実績	目標	目標	
												決算	予算	見込	決算	予算							
9	大村湾ZEKKEIライド開催事業	地方創生課 山中さと子 坂口恵蔵	大村湾流域市町と連携のもと、大村湾を自転車周遊するサイクルイベントを開催し、交流人口の増加を図る。各市町の特産品等でのおもてなしによる認知度向上を図る。	平成30年度			10 無	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	0	10,000	0	4,433	4,433	ZEKKEIライド参加者数	人			400	500	現状維持
10	地域活性学会研究会大村開催事業	企画政策課 横田良一 赤瀬雅昭	研究者や民間団体、自治体等が連携し、より実践的な地域活性化の取り組みを支援する「地域活性学会」の研究会を大村市に誘致・開催する。	平成31年度	平成31年度		8 有	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	0	0	832	0	0	研究会参加者の大村市内での延べ宿泊者数	人	—	—	—	400	新規
												0	0	0	0	0							
												0	0	0	0	0							
												0	0	0	0	0							
												0	0	0	0	0							
												0	0	0	0	0							